

令和7年度 春の企画展 昭和100年関連企画展示



戦傷病者と

結核

軍隊での罹患から
戦後の闘病生活まで

令和8年
(2026年)

3月3日(火) - 5月31日(日)

入場
無料

主催 | しょうけい館 (戦傷病者史料館)
協力 | 清瀬市郷土博物館、財団法人結核予防会
砂町文化センター(石田波郷記念館)、独立行政法人国立病院機構東京病院
開館時間 | 10:00-17:30 (入館は17:00まで)
会場 | しょうけい館 2階企画展示室
休館日 | 毎週月曜日・5月7日(木)・5月17日(日)
※5月4日(月)は開館



戦傷病者と 結核

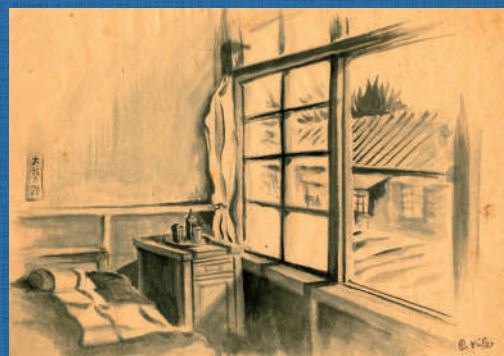
軍隊での罹患から
戦後の闘病生活まで

軍隊での結核は「軍隊結核」と呼ばれ、その対策が大きな課題のひとつでした。集団での行動を基本とする軍隊の特徴と、戦地での過酷な環境などによって、戦闘が起こっていない時にもかかりやすい感染症であり、患者数の増加によって、罹患し除役となった者の療養場所の確保も課題でした。

本展では、結核にかかった戦傷病者の人生に焦点をあて、軍隊生活の中でどのように結核を発症してしまったのか、そして戦中・戦後の闘病生活の様子と、結核という病と闘いながら過ごした人生の労苦を、戦傷病者と家族のあゆみから辿るとともに、関連する実物資料を展示します。また、軍隊結核に関連する資料や、結核の療養所についても紹介します。



レントゲン写真



病室（戦傷病者画）



陸軍から発行された結核に関する文書



地下鉄をご利用の場合

東京メトロ 九段下駅（東西線・半蔵門線）7番出口より徒歩3分、5番出口より徒歩5分
都営地下鉄 九段下駅（新宿線）7番出口より徒歩3分、5番出口より徒歩5分

バスをご利用の場合

都営バス 九段下（飯64系統）より徒歩4分
千代田区コミュニティバス 千代田保健所（九段下駅）より徒歩5分
※駐車場はありません。公共交通機関をご利用ください。

しょうけい館について

当館は、戦傷病者とそのご家族が戦中・戦後に体験したさまざまな労苦についての証言・歴史的資料・書籍・情報を収集、保存、展示し、次世代の人々にその労苦を知る機会を提供する国立の施設として、平成18年に開館し、令和5年に移転しました。

